



組 合 員

朝日電器 株式会社 <<https://www.elpa.co.jp>>
荒木産業株式会社 <<http://www.arakisangyo.co.jp>>
株式会社 輝章 <<https://www.ud-passion.com>>
辻プラスチック株式会社 <<http://www.tsuji-pla.co.jp>>
プチハウスなな <<http://www.togakikuyo.com>>
Life create works COCON <<http://www.ifuc.jp>>

協力企業

錦城護謨 株式会社 <<http://www.kinjogomu.jp>>
新和工業株式会社 <<https://www.shinwa.co.jp>>
株式会社総合サービス <<https://www.sservice.co.jp>>

MEMO

有限責任事業組合ユニバーサルデザイン企画

■運営に関するお問合せはメールで
mail : llp.ud.kikaku1@gmail.com

HP 改訂しました。

詳しくは二次元バーコードから
アクセスして下さい。

<https://www.llp-udkikaku.com>



日常の延長線上にある



防災

命をまもる、
みんなで助かる。
あなたも、
あなたの大切な人も。



L L P ユ ニ バ ー サ ル デ ザ イ ン 企 画

目 次

●はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	2
●要配慮者とは・・・・・・・・	3
●防災のユニバーサルデザイン化・・・・・・・・	4
●災害の想定と危機管理・・・・・・・・	5
●「自助」「公助」「共助」それぞれの役割と連携・・・・・・・・	6
●助け合いの仕組みづくり「互助」・・・・・・・・	6
●タイムラインで考える避難所・・・・・・・・	7.8
●タイムラインで考えるこんな時の為に事前の備え【災害発生時】・・・・・・・・	9.10
●タイムラインで考えるこんな時の為に事前の備え【避難所での暮らし】・・	11.12
●SDGsにつながる理念・・・・・・・・	13.14



—はじめに—



ユニバーサルデザイン

災害時、要配慮者を中心として
公平・公正に安全・安心を提供できる防災は
誰にとっても安全・安心が手に入ります。
防災は非日常的なものとして捉えられがちです。
しかし日常生活の延長線上に防災があります。
人が生きるために必要なものは、日常でも、非日常においても
衣食住・教育・危機管理です。

私たちは
防災のユニバーサルデザインに
取り組んでいます

まちづくり

ものづくり

ひとづくり

仕組づくり

安心
安全

【 要配慮者 】とは

高齢者、障害者、乳幼児、妊婦、傷病人、日本語が不自由な外国人
災害時に自力で避難することが困難な人のこと。
または、安全な場所に避難する際に支援を要する人のこと。

高齢者

障がい者

妊産婦
乳幼児

傷病人

日本語に不慣れな
外国人



普段から看護・介護・介助・保護が必要な人は
自分の命を守ろうとしても、一人では逃げることも困難です。

~~逃げなかった~~ < **逃げられなかった**

普段健康な人が、病気やケガをした場合には、傷病人になります。
旅先や知らない土地で災害に遭った場合など、帰宅困難者となります。
誰もが要配慮者になり得るのです。



防災のユニバーサルデザイン

(ユニバーサルデザイン=すべての生活者に対応したデザイン)

私たち LLP※ユニバーサルデザイン企画は
防災啓発活動を行っております。

※LLP=有限責任事業組合



要配慮者の命をまもる防災コーナー

大阪南港 ATC (ITM 棟 1 1F) エイジレスセンター内 「要配慮者の防災コーナー」
グリーンエコプラザ内 「環境・防災ゾーン」 にて
LLP ユニバーサルデザイン企画の各企業の商品を常設展示しています。
館内スタッフが商品のご説明もいたします。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

入館無料

開館時間 / 10:00 ~ 16:30

休館日 / 月曜・年末年始



災害の想定と危機管理

東日本大震災以来、地震と津波の想定の見直しが行われましたが自然災害はそれだけではありません。毎年のようにやってくる台風や豪雨災害、土砂災害にも目を向け様々な災害を想定する必要があります。

台風や豪雨災害は天気予報などで予測が可能です。土砂災害もその土地の特性を知ることでおおよその予測が可能になります。警戒レベル3が発令される前に自ら情報を得て対策をすることが重要です。

※令和3年には、「警戒レベル3」が発令された場合、高齢者等要配慮者は危険な場所から避難するよう避難情報に関するガイドラインが改定されました。



日本中どこにいてもこれらの災害にあう可能性があります。
また、災害は重複して起こります。



過去の災害経験から学ぶこと

日本はいくつもの大災害に見舞われ、多くの犠牲者を出してきました。
災害が唯一残したものは“教訓”です。これを決して無駄にしてはいけません。

めったに起こらないから大丈夫...
誰かがやってくれるだろう...
自分はなんとかなる...
私の住む地域は大丈夫...!
すぐに復旧するだろう...

たった一度の災害が大きな被害を残します。
“だれか”ではなく自らの備えが命を守ります。
まずは自分が助かなければ人を助けられません。
地震の活断層は日本中にあり、異常気象も多発しています。
数か月・数年たっても復旧が進まない現状があります。

安全神話はありません！

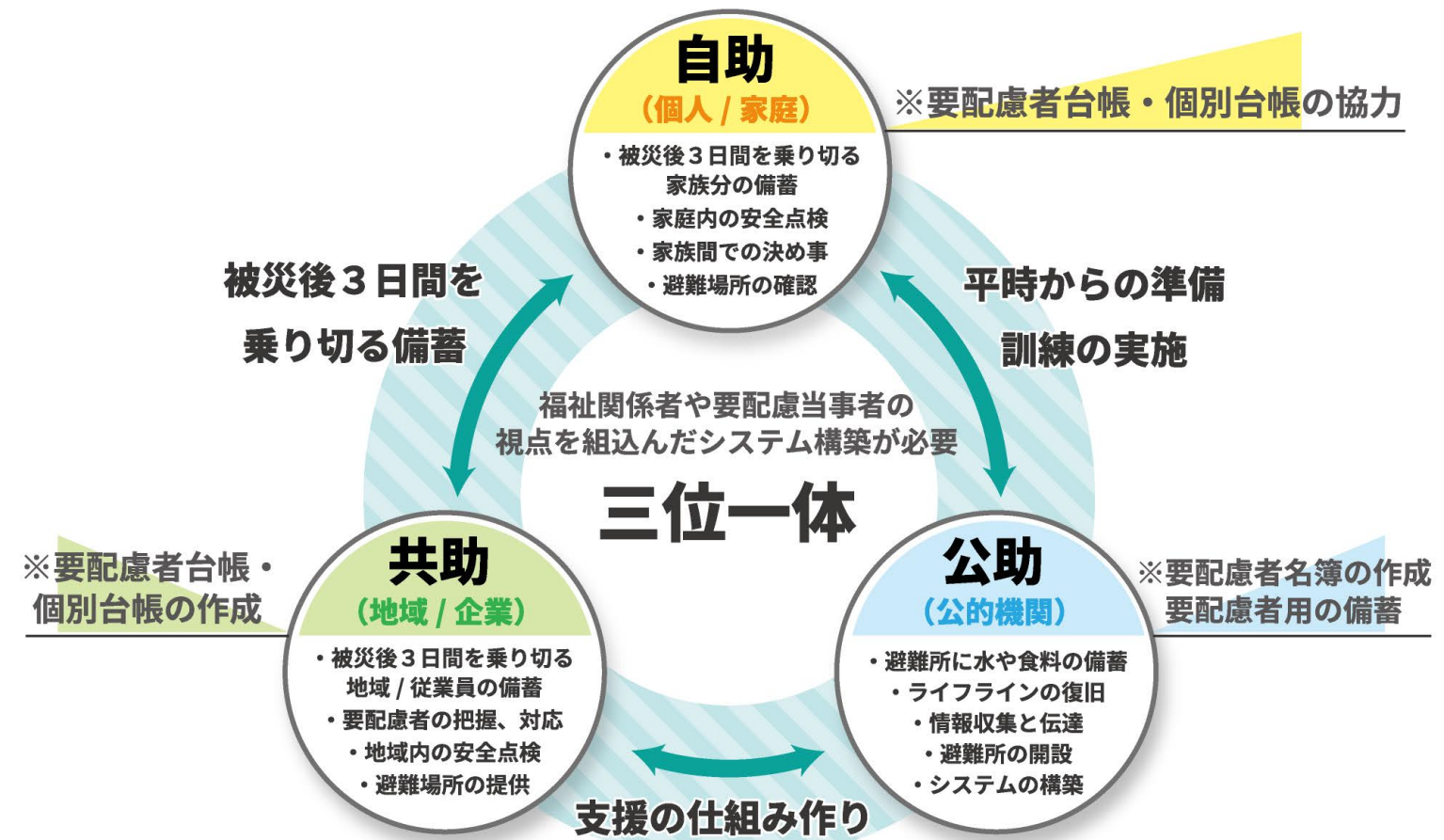
■被災から4年後の宮城県内の様子



■被災から3か月後の熊本県益城町内の様子



「自助」「共助」「公助」それぞれの役割と連携



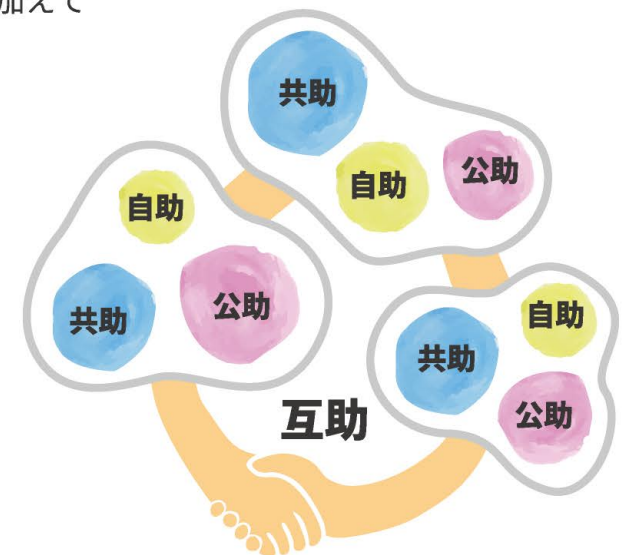
助け合いの仕組みづくり「互助」

要配慮者の防災を考える上で、自助・共助・公助に加えて大切なのが「互助（ごじょ）」の取り組みです。

災害時の様々な危機的状況を想定した際、自分たちの地域だけではどうにもならない物理的課題が発生した場合は他地域との連携が必要不可欠です。

「地域内に要配慮者を受け入れ可能な病院がない。」
「避難所での生活は不安だが、遠方の親戚宅で暮らすことができる。」など、それぞれの立ち位置で手助けができることを活かして支援する。

これが互助という助け合いコミュニケーションです。



タイムラインで考える避難所



災害発生後、3～6時間は支援が届くまでは地域内で対応し
乗り越えなければいけません。12時間・24時間・36時間と、
時間の経過とともに状況はどんどん変化していきます。

避難所の運営を考える際、情報の一元化が重要になってきます。
必要事項をタイムラインで表示する事で、時間の経過と共に必要な情報や支援物資を
可視化することができます。
また、災害発生時から72時間まで、状況にうまく対応するためには、女性・学生・
企業・障がい者・防災リーダーやボランティアリーダー等の事前の育成も不可欠です。

タイムラインに沿った情報の一元化【例】

発災までの準備

- 要配慮者情報共有
- 情報伝達の明瞭化
- 避難所の備蓄品公開
- 人材育成 等

発生～3時間後

- 避難所本部開設
- 安否確認
- 現場情報収集・伝達
- 備蓄品搬出・配布 等

3～6時間後

- ライフラインの現状把握
- 危険個所の伝達
- ボランティア情報・要請
- 救助要請・出動 等

6～12時間後

- 現場情報収集・伝達
- 避難者へ情報揭示
- 緊急搬送者の有無
- 食料・水の配布 等

12～24時間後

- 避難所本部運営会議
- 全住民の安否確認
- 備蓄品搬出・配布
- ペット避難所設置 等

24～36時間後

- ボランティア情報・要請
- 情報収集結果の追加
- 支援物資の要請
- 避難所運営 等

36～48時間後

- PCの活用
- 在宅避難者の状況把握
- 食料・水の要請
- 遺体収容・遺族の支援 等

48～60時間後

- 避難者へ情報追加揭示
- ボランティア追加要請
- 医療支援巡回
- 炊き出し 等

60～72時間後

- 避難所継続運営
- ライフライン状況の把握
- 福祉サービス支援
- 支援物資の整理と配給 等

check!!

避難の警戒レベル

行政より「警戒レベル3」が発令されると、避難に時間を要する
人（高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は一次
避難へ避難し、その後開設される福祉避難所へ移動することにな
っています。しかし現実ではレベル3が発令されてもすぐに避難
所が開設されなかったり、一次避難所から福祉避難所への移動で
はすでに危険な状態になっていたりすることもあります。
また一般の避難所には福祉的・医療的設備が整っていないことか
ら要配慮者が避難を躊躇したり、避難所の存在を知らないケース
もある等々、課題も多く存在します。

解決策として・・・

- 福祉避難所を一次避難所にする
- 福祉避難所がどこにあるか広く告知する
- 予め要配慮者の登録を行ってもらう
- 近隣の福祉及び医療関係者と連携の提携をしておく
- 登録された方の状態に合わせた設備や備蓄をする
- 一次避難所の一角に福祉避難所のスペースを設ける

等が考えられます。親子支援・災害看護支援*とめっと代表 山中弓子氏の資料より

令和3年5月に避難情報に関するガイドラインが
改定されました。

警戒レベル	状況	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	災害発生 または切迫	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保 (※1 市町村が発令)
警戒レベル4までに必ず避難！			
警戒レベル4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示 (注 市町村が発令)
警戒レベル3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難 (※2 市町村が発令)
警戒レベル2	気象状況の悪化	自らの避難行動を 確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発令)
警戒レベル1	今後気象状況の 悪化の恐れ	災害への心構えを 高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発令)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない。
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難する
タイミングである。
(注) 避難指示は、令和3年の対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令する。



身体障害者補助犬法について



目の不自由な方の歩行サポートをする「盲導犬」
身体の不自由な方のサポートをする「介助犬」
耳の不自由な方に音を知らせる「聴導犬」この3種類の犬を補助犬といいます。

平成14年に施行された身体障害者補助犬法には次の3つの柱があります。

1. 補助犬を育成する団体には良質な補助犬の育成と指導を義務付ける。
2. ユーザー（補助犬使用者）には補助犬の適切な行動と健康の管理を義務付ける。
3. 公共施設・交通機関、スーパー・飲食店・ホテル・病院や職場などで、補助犬同伴の受け入れを義務付ける。

この法律をきっかけとして「補助犬は障がい者の身体の一部であり、それを拒むことは
障がい者の社会参加を否定することになる」ということが、社会の共通認識となるように
取り組んでいきます。

「公益財団法人日本補助犬協会」資料より

タイムラインで考える こんな時の為に 事前の備え !!

【災害発生時】

災害発生



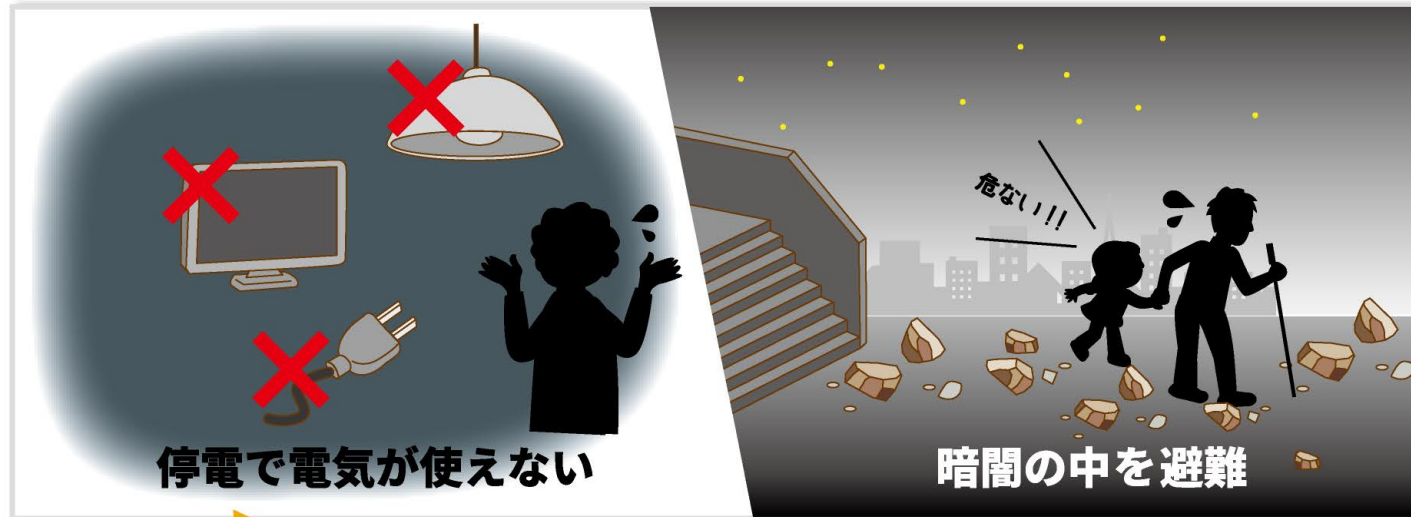
安全の確保

情報収集

安否確認

避難開始

scene.1 【停電】



scene.2 【行方不明】



ELPA
朝日電器 株式会社
所在地：大阪府大東市新田旭町 4-10
TEL：072-871-5065 FAX：072-871-5110
mail：arima@elpa.co.jp 担当者：有馬 直純



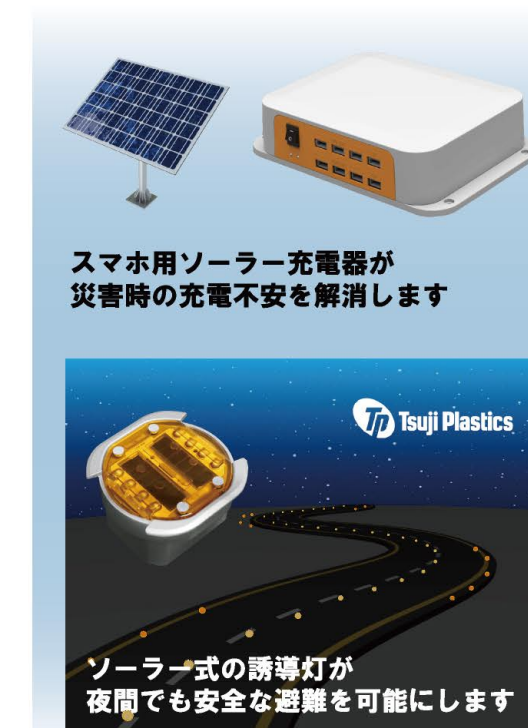
垂直避難に対応可。
搬送者がほとんど腰を曲げずに階段搬送でき安全で人にやさしい設計です。軽量でコンパクトに収納できます。

狭い階段での搬送は
おんぶひも
(大人用)



必要な場所に電気を運ぶ
屋内用緊急電源

KISHO
株式会社 輝章
所在地：大阪府大阪市西淀川区佃 2-15-4-708
TEL：06-6474-2114 FAX：06-4394-7120
mail：info@ud-passion.com 担当者：樗（とが） 章夫



辻プラスチック株式会社
所在地：滋賀県東近江市五個荘奥町 160 番地
TEL：0748-48-2206 FAX：0748-48-2720
mail：contact3@tsuji-pla.co.jp 担当者：SA課 浅居

ifu series
PELICAN
イフ・シリーズ

人を守る。データを守る。
“命の電源”

防水 防塵 耐衝撃

- 防塵・防水のIP67取得
- 太陽光でも充電可能
- 補充電は年1回でOK
- 誰でも安全・簡単操作

電池容量 300W ~ 1500W・その他特注品承ります。



LIFE create works COCON
ライフ クリエイト ワークス ココン
所在地：大阪府豊中市大黒町 2-25-7
TEL・FAX：06-6334-2322
mail：lifecreate.cocon@gmail.com
担当者：藤沢

日頃からの 備えで大きく変わる初期対応

様々な情報収集に必要な不可欠な電力

タイムラインで考える こんな時の為に 事前の備え!!【避難所での暮らし】

避難所生活

移動・搬送

情報提供

設備整備

トイレ問題

scene.3【避難所への入所】



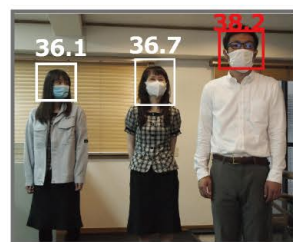
scene.4【暮らしに必要な設備】



安心の日本製
かんたん操作
パソコン不要
かんたん検知



使う人を選ばない
サーモグラフィカメラシステム



- ・ consent に差し込んで
すぐに運用開始
- ・ 複数人の同時検知が可能
- ・ PC サポートが不要
- ・ 警報温度検知時に
画像を自動的に保存
- ・ 動体熱源検出機能で
人物だけを測定

SHINWA
新和工業株式会社

新和工業 株式会社

所在地：神戸市中央区多聞通 5-3-13
TEL：078-382-2231
mail：info@shinwa.co.jp 担当者：高藤



ガタガタしない誘導路

要援護者の移動をサポート
視覚障がい者歩行誘導マット

- ・ひとりで移動できるようになることで、視覚障がい者の心の負担、支援者の努力の負担を軽減
- ・ ゴム製マットのため、足音が響きにくい
- ・ スロープ形状で台車や車いすの通行がスムーズ
- ・ 平時は教材やイベント時に利用

■福祉避難所での使用例



錦城護謄 株式会社

所在地：大阪府八尾市跡部北の町 1-4-25
TEL：072-992-2328
mail：info_bf@kinjogomu.jp
担当者：バリアフリー推進課



IFデザインアワード2016受賞
GOLD AWARD 2016

音でお知らせ・注意喚起
みまもりベル



移動の際に音で周囲に注意喚起することで
支援者が受けやすくなります。

荒木産業 株式会社

所在地：大阪市生野区巽南 4-5-2
TEL：06-6792-5580 FAX：06-6791-5774
mail：k.araki@arakisangyo.co.jp 担当者：荒木



要援護者のヘルプコールに
ワイヤレスインターホン

- ・ 双方向通話、一斉呼びかけ可能。
- ・ 配線不要！充電式だから持ち運び OK。
- ・ 最大 4 台まで接続。
- ・ 家庭用から業務用まで様々なシーン活用。
- ・ 使いやすさを考えた表示シールを付属。

乾電池式 手をかざすだけ
オートディスペンサー

感染対策は手洗いが基本です！
触らないから 汚れ・雑菌がつかず 衛生的



ELPA 朝日電器 株式会社



災害対策用携帯トイレ
サニタクリーン便袋

既存便器を活用。
便器に被せるだけで使用可能。
燃えるゴミとして廃棄出来ます。



簡易止水対策
水のう君



水を入れるだけですばやく準備！
袋は再利用可能。食品衛生法適用
で飲料水の保管も可能。

株式会社 総合サービス

所在地：東京都中央区日本橋 3-14-5
mail：t-misono@sservice.co.jp
TEL：03-3274-2448
FAX：03-3274-2710
担当者：御園



要配慮者に危険を及ぼす環境の改善

トラブルを防ぐ、安心設備の充実

SDGs につながる理念

LLPユニバーサルデザイン企画が掲げる理念、及びご提案は世界が注目するSDGsに多く通じています。
我々の活動を通して多くの地域社会に、要配慮者を含むすべての命をまもる備えが広まることを望みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちの新しい取り組み

■LLP ユニバーサルデザイン企画基本理念



命をまもる みんなで助かる
誰もがみんな ふつうの暮らし



■避難所運営の考え方



福祉避難所を併設した
「併設避難所」 ニースに合わせた支援ができる
「福祉避難室」の配置

■地域社会との助け合い



それぞれの役割と
助け合いの仕組み作り



私たちの仲間の取り組み



サブサハラ・アフリカの地方では無電化地域が広がっており、3人に1人が電気にアクセスすることができません。バッテリー不要なソーラー充電器により、需要の高い携帯電話や夜の灯りに必要な充電式ランタンを地域内で充電可能となり、生活の改善に繋がっています。(辻プラスチック株式会社)

有限責任事業組合ユニバーサルデザイン企画

組 合 員

朝日電器 株式会社 <<https://www.elpa.co.jp>>
荒木産業株式会社 <<http://www.arakisangyo.co.jp>>
株式会社 輝章 <<https://www.ud-passion.com>>
辻プラスチック株式会社 <<http://www.tsuji-pla.co.jp>>
プチハウスなな <<http://www.togakikuyo.com>>
Life create works COCON <<http://www.ifuc.jp>>

協力企業

錦城護謨 株式会社 <<http://www.kinjogomu.jp>>
新和工業株式会社 <<https://www.shinwa.co.jp>>
株式会社総合サービス <<https://www.sservice.co.jp>>